

1 月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成29年1月23日（月）15時3分～16時23分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石職務代理者、古場委員、河内委員、岡本委員、犬走委員、森委員、奥川委員、副島委員、浦郷教育長
事務局：浅井副教育長、諸岡こども教育部長、水町こども教育部理事、福田ICT教育監、溝上図書館・歴史資料館長、山田教育政策課長、古賀学校教育課長、諸岡スマイル学習課長、渊上文化課長、青木生涯学習課長、野口教育政策課参事、山頭学校教育課参事、樋渡教育政策課教育政策係長、本多教育政策課副主幹
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【河内委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 平成28年12月定例教育委員会会議録
- 8 教育長の報告 1 報告
 - (1) 幼児・児童・生徒の活動について
 - ・不登校・問題行動の減少
 - ・インフルエンザの流行について
武雄小2年（2学級）、橘小3年、武雄中1年4組
 - (2) 校舎等の改修について
 - ・山内西小体育館改築・武雄中部室
 - (3) 諸行事 等
 - ・市連P懇談会 1月21日（土）
 - ・1月の市民大学
花園大学教授 佐々木 閑 先生 講義
スカイプでつないだネット講演
 - ・範蔵まつり
 - ・雄武町派遣 2月3日（金） 5時40分
- 2 ICT教育の推進について
 - (1) 1月24日（火） 武雄小学校授業公開後
「スマイル学習シンポジウム」
 - ・東洋大学での検証報告
 - (2) ソフトバンク（Pepperの貸与）

3 官民一体型学校について

(1) 1月28日(土) 朝日小学校公開授業

(2) 2月29日(日) トムソーヤ・フェスティバルに合わせ
シンポジウム開催

4 生涯学習・文化・スポーツ

(1) 県内一周駅伝 25日結団式 2月17日～19日 大会

5 教職員について

(1) 不祥事防止

(2) 人事関係

6 その他

(1) 北方幼稚園の在り方懇談会 1月19日開催

9 議 事

(1) 提出議案

第25議案 武雄市保育所等整備補助金交付要綱の一部を改正する要綱

【原案どおり議決】

第26号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について

【原案どおり議決】

(2) 協議事項

(3) 報告事項

① 図書館・歴史資料館について

・ CD・DVDコーナーについて

② 市立図書館の選書について

③ 子どもの貧困対策に係る実行計画の策定について

10 各課等からの報告

11 次回開催日程について

【平成29年2月17日(金) 10時～ 市役所4階会議室】

12 その他

13 閉会

14 会議録

午後3時3分 開会

○職務代理者

済みません、ちょっと定刻を過ぎておりました。遅ればせながら一同集まりましたので、皆さん明けましておめでとうございます。ことしもよろしく申し上げます。また、昨年度、御不孝の御家庭におきましてはことしこそよい年でありますようにお祈りいたします。

年末年始のあの穏やかな日から、物すごく厳しい寒さになってきました。これで私はちょっと安心をいたしました。春が楽しみだし、勢いのある夏が楽しみだし、実りの秋が楽しみ、そのためのこの寒さだろうと思います。これがあってのことだと思っておりますので、楽しんでおります。

では、1月の定例教育委員会を始めたいと思います。

議事録の署名人の指名でございます。今度は河内委員さんでございます。どうぞお願いいたします。

では、前回の会議録の承認です。何か訂正等ありましたらどうぞ。よろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

異議なしと認めて記録のとおり承認をいたします。

次は、教育長の報告です。教育長お願いいたします。

○教育長

前回以降のことについて報告をいたします。

幼児・児童・生徒について大きな問題なしと書いておりましたが、きょうになりまして、インフルエンザで明日から学級閉鎖という話が、そこに書いておりましたように武雄小学校、橘小学校、武雄中学校で出ております。恐らく今までのことから振り返りますと、広がるだろうというふうに思っております。注意していきたいと思っております。

それから、今日別のプリントを配付してもらっているようですが、不登校の傾向の生徒の表を出してもらっておりますが、久しぶりに減少する方向にあります。大変嬉しく思っているところであります。絶対数がまだ多いですので、十分注意したいと思っておりますけれども、そういう方向もでございます。

(2)の校舎等の改修については、山内西小体育館が間もなく完成いたします。卒業式には十分間に合うということです。武雄中の部室を引き続きやっております。

行事等については、市連P懇談会を21日にやりまして、年2回やっているわけですがけれども、2学期制を含めて幾つかの課題について、いろいろ率直な御意見を聞くことができました。

市民大学のことをあえて書いておりましたが、これはC委員さんの紹介もいただきまして、佐々木先生のスカイプでつないだネットでの講演ということで、初めての試みだったわけですが、市民大学自体としても、方法的にこういう方法でもできるなということを実感された

んじゃないかと。内容的にも非常に素晴らしい話でありました。

それから、範蔵まつりについてもあえて書いておりますが、毎年1月12日に開かれるわけですが、花島地区以外の方もたくさん見えておられまして、本当に大事にさせていただいている祭りだということで、これもありがたく思ったところです。

雄武町の派遣が2月3日からと、早朝5時40分となっておりますが、犬走委員さんを団長として、よろしく願いをいたしたいと思っております。今度、向こうは教育長さんが代わられまして、恐らく歓迎していただけるものと思っております。

ICT教育の推進については、明日、武雄小学校でスマイル学習のシンポジウムを開きます。本当に東洋大学のほうで熱心にしていただきまして、3回目の検証になるわけですが、今回も来ていただいて、直接お話をさせていただくというふうにしております。武雄小学校はインフルエンザで学級閉鎖も片方出ておりますので、どうかしっかりマスクをして、参加していただければというふうに思っております。

ソフトバンクでペッパー君の募集があつておられまして、これが明後日、25日には公表されるだろうというふうに思っておりますが、武雄市のほうにも選考いただいて、内容的にはプログラミングになってこようかと思っておりますけれども、子どもたちも喜んでくれるだろうというふうに思っております。有効な活用を考えていきたいと思っております。

官民一体型学校づくりにつきましては、28日に朝日小学校の公開授業、それから、これも後でも、トム・ソーヤのチランにも武雄花まる学園大討論会と書いてもらっておりますが、ここでもシンポジウムを予定しております。

生涯学習・文化・スポーツにつきましては、県内一周駅伝結団式が25日に予定されております。大会が17日から19日ということで、活躍を期待したいと思います。

教職員についてであります。不祥事の防止ということで、全県的に何回も指導があつてはいるわけですが、今年度は義務制での免職はあつておりません。免職はあつておりませんが、義務制で、小・中学校での免職はあつておりませんが、ここ数年、非常に厳しい指導をいただいております。これも注意していきたいと思っております。

人事関係では、今年度、特に管理職の採用昇任というのが非常に厳しい状況であります。事務所の方針としては、杵西地区と藤津地域の交流者数をふやすという方針と、どうしても中部から西部への流れというのがございます。最終的にここで非常に調整が必要になってくるわけです。武雄から伊万里とか有田方面に行っていただく人を探さないといけないというのが大体毎年の流れですが、これはどうしても続きます。恐らく今年度もそういうことで西向きの流れだろうということを言われております。

その他としまして、北方幼稚園の在り方についての懇談会を19日に開催をいたしました。合併当初からの課題であったわけですが、いろんな理由で今になっております。ということで、今後さらにまとめていく時期かというふうに思っております。

1つインフルエンザが心配ではありますが、今月もまたしっかりやっていきたいというふう
に思っております。よろしくお願いいたします。

○職務代理者

はい、ありがとうございました。何か御質問はありますか。C委員さんどうぞ。

○C委員

その他の北方幼稚園の在り方懇談会というのは、どのような話がなされたのか、教えてい
ただける範囲で構いませんので、教えてください。

○教育長

北方幼稚園につきましては、合併当時から民間委託まで含めた方針がいろいろ出されてい
たわけで、それで、この間も途中5年間もほったらかしにしてというような議論もあったん
ですが、御存じのとおり、この10年というのは非常に幼稚園とか保育園の制度が非常に動
きましたですね、認定こども園等を含めてですね。そういう状況も絡めながら、町内の保育
園の動き等々、それから絶対的に少子化がありますので、ひところの北方町の幼児数から
かなり減少しているわけですね。そういう状況を確認すると同時に、今後成り立っていくの
かというところの議論であります。

その中で私どもが幼稚園を議論するときには、特別な要因として考えていなかったわけ
ですけれども、バイパスの問題というのが1つ意見として出されておまして、そういうこと
まで含めた議論になってくるかなというふうには思っております。言えるのは大体それくらい
ですかね〔「はい」と声あり〕。

○職務代理者

ほかに。そしたら、質問を打ち切りたいと思います。

では、議事に進みます。2件ございます。

まず、第25号議案 武雄市保育所等整備補助金交付要綱の一部を改正する要綱でございま
す。提案をお願いいたします。

○教育政策課参事

2ページ、第25号議案 武雄市保育所等整備補助金交付要綱の一部を改正する要綱につい
て、議案書により説明。

○職務代理者

ありがとうございました。では、第25号議案、ただいま提案をしていただきましたが、ご
質問ございますか。よろしいでしょうか〔「はい」と声あり〕。

異議なしと認めて、第25号議案は原案のとおり可決されました。

では、第26号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について、提案をお願いいたします。

○教育政策課教育政策係長

3ページ～5ページ、第26号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について、議案書により説明。

○職務代理者

第26号議案について、御質問ありましたらどうぞ。質疑ございませんか〔「はい」と声あり〕。

では、異議なしと認め、第26号議案は原案のとおり可決いたしました。

○職務代理者

では、協議事項はございません。

次に、報告事項に移りたいと思います。

まず、図書館・歴史資料館について、文化課長、どうぞお願いします。

○文化課長

図書館・歴史資料館のCD・DVコーナーについて御報告申し上げます。

資料はございません。12月の定例教育委員会におきまして、お話ししたかと思いますが、アンケート等の結果で、学習席が不足しているという結果が多くございまして、そのスペースと座席を確保するための方法の一つといたしまして、当該コーナーにそういうスペースが確保できないかということをして市長が表明されたものですということをして12月に御報告したところです。

そういたしまして、文化課といたしましては、この表明を受けまして、実際に当コーナーに学習スペース等を確保できないかということを考えているところでございます。

しかし、当該コーナーにつきましては、CCCさんに対して、本の販売とかスタバさんのエリアなどと同様に、行政財産目的外使用により使用させているものです。1期目の指定管理期間は御存じのように5カ年で、平成30年3月31日までとなっておりますが、これを1年前倒ししてもらいまして、CD・DVコーナーのみ、ここだけですけれども、使用の見直しをお願いして、文書にて依頼を行いまして、見直しに応じてもらうよう協議をしていきまして、学習スペース等の確保を図りたいと考えているところでございます。

現在、事務レベルでの協議を進めているところでございます。

以上、簡単ですが、報告にかえさせていただきます。

○職務代理者

そしたら、まず、この項目だけ、ただいまの説明について、御質問ございますか。

○A委員

今のCD・DVコーナーで、1年前倒しでCCCさんと話がつけば、撤去して、また工事が必要となると思いますが、このまま順調にいけば、いつごろオープンするようになるんですか。

○文化課長

時期的と考えておりますのは、こども図書館オープン前に完成できればなというふうを考えているところでございます。

OA委員

こども図書館オープン前といたら、10月ですか、何月ですか。

○文化課長

10月がオープン予定でございますので、その前の9月か8月ごろ。

OA委員

でも、工事費等の予算とかなんかの計上も要るんじゃないですか。

○文化課長

当初予算をお願いしているところでございます。

OE委員

もし具体的に工事計画が順調に進んだ場合、何席ぐらい確保できて、混雑している状況をどのくらい改善できるかというのがありましたら教えてください。

○文化課長

座席等につきましては、スペースの関係もございますけど、大体40席前後できるんじゃないかと考えておりますが、どれぐらい解消できるかという数字をちょっと持ち合わせておりません。

OB委員

目的外使用貸与ということであれば、CCCのほうからの使用料ということで収入が入っておったわけでしょう。年間どれくらいあったんですか。

○文化課長

28年度は612万円です。

OB委員

それを反故にして前倒しでやるというわけですね。

○文化課長

29年度はですね。（発言する者あり）済みません、612万円の一部ですね。260万円程度減額になる予定です。

OB委員

減額になって、それまでは、それだけの収入があっていたわけですね。

○文化課長

25年度からですね。

OB委員

収入というのは相当な額なんですけどね。それを市のほうから返してくださいというような要請をやったわけですね、向こうからじゃないんですね。

○文化課長

はい、武雄市のほうからお願いをしている状況です。

OB委員

ちょっと私としては腑に落ちないところがあるんですけども、わかりました。

○職務代理者

B委員さんは腑に落ちないということでしたが、それにつきましては、いかがでしょうか、今の件に対しては。

OB委員

市から言った場合と、向こうからもう返しますよという場合とは大きな違いがあるものですね。その辺のところをちょっと聞いたかったんですけども。

○図書館・歴史資料館長

今、B委員さんからあっておりましたので、実際現場をあくまで知っている者として、一言現状を申し上げたいんですけども、今、特に武雄高校が近くにあるというのもありまして、中学生、高校生、本当に多いです。平日も学校が終わったら、4時以降、学習室が結構いっぱいになります。土日の場合は、朝一、五、六十人、ばーっと席取りするぐらいあって、実際困っているのは、学習室だけじゃ足らずにその子どもたちが一般のお客様の閲覧席、そこで持ち込み学習をしているんですよ。だから、土日については御遠慮くださいということでも声をかけてやっていますけれども、結構それでのトラブルもあります。「何でいけないんだ」とかですね。

できれば子どもたちは本当は、高校の図書室とかなんとかで勉強してくれればいいんでしょうけれども、どうしても図書館のほうが能率がいいということで、子どもたちの勉強場の確保というのも、やっぱり図書館の役割かなということで考えてます。

そういう事情もありまして、市のほうからお願いして、子どもたちのための土日を中心にはほとんどいっぱいになりますので、その場所を確保できる場所としたら、あそこ以外、今のところなかったものですから、そういう形で今、計画が進められているところです。

OB委員

スペースの確保が許容量として、どうせ足らんのではないかという感じがするんですがね。今のその座席数から、改定される数値からするとですね。そういうことになってくると、私は文化会館の空き室あたりを相当許容的に回すことができるようなところもありはせんかなという感じもするんですね。そういうふうな感じを持ったものですから。

○図書館・歴史資料館長

補足ですが、今言われたように、私たちも「学校だけじゃなくて、文化会館もありますよ」と言うんですけども、どうしてもやっぱり子どもたちが「図書館のほうが」ということで来るんですよ。だから、本当に用意ができなければ、よその図書館の例を言いますと、排除されるんですよ、子どもたちには貸しませんとか、時間制とか、座席指定で1人2時間までとかですね。だから、そういう手もありますけれども、武雄としては、そういう場所

がある程度確保できたら、1日中にはいけませんので、時間差になりますので、何とか対応ができるんじゃないかなということで、ぜひ進めていきたいなというふうに考えております。

○職務代理者

高校の図書館や文化会館を紹介しても、図書館じゃなければということで、高校生、中学生が来ているそうですが、この点、いかがでしょうか。

○OA委員

こども図書館ができれば、今まである子どものスペースの分、その分は何席ぐらい、学習机用にふえるんですか。

○文化課長

計画では、私が正確に覚えていないですが、46席だったと記憶しております。

○OA委員

それでは、46席と、このCD・DVコーナー分の40席で86席ぐらいはふえるということになるんですかね。

○文化課長

単純に足すと、そういうことになります。

○職務代理者

いかがでしょうか。収入が少し減っていきますが、子どもたちのために一応取り組んでもらうということはいかがでしょうか。よろしいですか、今ので〔「はい」と声あり〕。

はい、そしたら、一応計画どおり進めていただきたいと思います。（「よろしいですか」の声あり）これに関してですか、はい、H委員さんどうぞ。

○OH委員

先ほど説明で、こども図書館の開館に合わせて、10月ぐらいからという説明がございましたけれども、29年3月31日まで、一応契約という形で今後されるということ、5年だったけれども、1年前倒しで。

○文化課長

指定管理者さんの図書館・歴史資料館の指定管理期間の期限が30年3月31日ということで申し上げたところです。

○OH委員

夏休みが入ってくるので、子どもたちのためということであれば、夏休みから何とか使用できるようになればいいなと思ったものですから、そういうお互いにきちっとCCCとの契約上のことがわからなかったものですから、そういうふうに今質問させていただきました。

同時に、もう一つ別の点ですけれども、この前、ちょっと話をしていたら、やっぱり学生だけじゃなくて、いろんな資格試験のために勉強をされる方が武雄市は非常に多いということをちょっと伺ったものだから、いいなあと思っていますね。やはりなかなか、例えば、実際、

ご家庭を持たれて勉強するというのはなかなか出来づらいところもあると思うんですね。そういう意味では非常に今の開放に向かう方向性は、やっぱり広く図書館を使っていただくという意味では、いいのじゃないかなという気がいたします。

○職務代理者

はい、ありがとうございました。

では、次に、2番の図書館の選書についてでございます。

○教育政策課教育政策係長

報告事項②、市立図書館の選書について、別紙により説明。

○職務代理者

何かお気づきの点がありましたらどうぞ。よろしいでしょうか。〔「なし」の声あり〕。

お気づきはありません。

では、次に、もう一つ報告事項で子どもの貧困対策に係る実行計画の策定を向けてということで、副教育長さんより御報告をいただきたいと思います。はい、副教育長さんどうぞ。

○副教育長

別刷りの資料になります。子どもの貧困対策に係る実行計画の策定に向けてということで、武雄市の子どもの貧困対策ワーキンググループでまとめた市全体の取り組みを御報告させていただいて、御意見等いただければ、それも踏まえていきたいと考えています。

まず、小学校1年生の保護者、小学校5年生の子どもと保護者、中学校2年生の子どもと保護者に対して行った、子どもの生活実態調査の結果の速報として、別紙にその概要を載せております。回収率は93.7%でした。本資料は保護者の回答のみつけさせていただいておりますけれども、全般的事項として、子育てに係るもので悩みごととか相談相手、また、子どもの受診が必要なときの状況、また、必要と考えられる支援というのをそれぞれ選択していただいたものが、こちらの数値になっております。

また、進学にかかわってということで、小学校入学の経験、中学校入学に向けて不安の部分、また、中学校入学は実際経験してどうだったか、また、高校進学等に向けてどのようなことが不安かというところを速報として単純集計で載せております。

また、8月に行った、ひとり親家庭等へのアンケート調査の速報になります。ここも、子どもについての不安のところ、また、必要な支援のところというのを掲載しております。

1ページ目に戻っていただきまして、実行計画がどういう位置づけで、どういうスケジュールでつくっていくかということですが、武雄市の未来を担う子どもたちに対して、未来を切り開いていく社会の実現を目指して、それを応援するための基本方針として策定したいと思っております。

別途、もう既にあります武雄市子ども・子育て支援事業計画との関連性を踏まえて行っていきます。今年度中に策定し、当面5年間の重点施策というのを挙げて、中長期的な課題も

視野に入れて取り組んでいきたいと考えています。また、計画については、予算と連動させるとともに、単に今策定して終わりということではなくて、29年度の実施状況も踏まえた上で、その後も反映させていきたいということを考えております。

実行計画案ですけれども、具体的な部分として、まず、タイトルとしては「武雄市子供の未来応援計画～すべての子供の希望の実現に向けて～」というのを仮で挙げさせていただいております。はじめにのところには位置づけ等を記載させていただきます。基本的な方針のところですが、子どもに寄り添う伴走型支援、常に横を走っていくというイメージなんですけれども、それと学校間のギャップを埋めると。幼保から小へ、小から中へ、中から高へというところの狭間の部分で費用がかかるというところ、支援が途切れるのではないかなという指摘もありますので、その部分をいかに埋めていくか。また、地域の力も活用しながら、長期的・継続的に支援をしていくか。また、まさに困っている子だけではなくて、困りそうな子に対しても、早い段階から予防的に支援をしていくことを推進していきたいというのを大きな柱として考えております。

計画期間は先ほど申し上げたとおりで、武雄市の子ども現状は、今、後ろに掲載させていただいた部分の概要、ここの部分は国や佐賀県とも比較しながら、概要を記載していると考えております。

計画の推進にあたってということで、子どもの実態に関する指標、以前の教育委員会の中でも議論はありましたけれども、どういう指標を具体的に見ていくのかというところで、こちらは参考資料のところに指標の案という形で、今検討中のものを掲載させていただきました。国の子どもの貧困対策に係る大綱の部分に記載があるのが国と書いてあります。佐賀県と書いてあるのが、佐賀県の子どもの貧困対策計画の指標としている数値、武雄市で把握できるもの、できないものが当然ありますので、その部分と、一番下のところは、要保護・準要保護認定者の割合、ここは武雄市独自でこういう形の指標がとれるかなと。ここの部分を、国と県が指標にしていないのは、市町村ごとに認定の基準が異なりますので、単純比較ができないということで、武雄市としては基準を変えない限りは継続的にこれで見ているかなとは思っております。

これらは、指標を見ていただいておりますと、どれかが100になればいいとか、どれかが、より高くなればいいというような、単純にはいかないものなんですけれども、どういうふうに推移していくのかというところをしっかりと把握した上で考えていくことが必要ではないかと思っております。

戻っていただいて、一番最後のところには現行の施策とか、今後、取り組む方向性というのを記載していきたいと。具体的に28年度からやっているものは引き続きやっていくもの、29年度新たに立ち上げるもの、そして、すぐに立ち上げるものではないですけれども、今後考えていかなければいけないことというのをあわせて記載したいと考えております。

以上になります。

○職務代理者

ありがとうございました。

この子どもの貧困対策に係る実行計画の策定に向けての説明をいただきましたが、委員さん方から、まず御質問をいただきたいと思います。E委員さんどうぞ。

○E委員

本題とずれる小さいことなのかもしれませんが、子どもの「ども」という字が平仮名表記と漢字表記が混在しているような感じなので、これは何か意図があられるところでしょうか。

○副教育長

この部分はどのように統一するか、実は課題としてありまして、国の法律の「子ども」と大綱の「子供」の字と、あとは課の名前の「こども」とそれぞれ違いますので、ここはどういうふうに統一するか、今後考えたいと思っております。

○職務代理者

今後の課題ですね。ほかに御質問はありませんか。

○教育長

年度の5年間というのとは、どこからの期間を指していますか。

○副教育長

これは作成してまさに今年度補正で取り組み始めるところもありますので、28年度から5年間というふうに捉えるのか、29年度から5年間というふうに捉えるかは、そこもあわせてちょっと検討しなきゃいけないとは思っています。

例えば、新入学用品費は7月から前倒しで3月にというのは、今年度からまさに取り組むことなんですけれども、入学年度としては29年度の子どもたちに対してなので、その部分をどういうふうを書くかというところで、今、それを28年度に取り組んでいくところというのがありますので、28年度からとしておりますけれども、ここは本当は年度末になりますので、29年度からという手もあるとは思っております。

○OH委員

非常に計画的に遂行されるのであれば、やはり検証等もしながらできるかなという感じはするんですね。これ、先行事例みたいなのはあるんですか。そういうのはやっぱり武雄市が一番、多分恐らく市長さんが、首長がトップに立ってあるので、先行事例はないんじゃないかなと思いますが、いかがでしょうか。

○副教育長

基本的に市町村レベルでは1番ではないです。もう既につくられているところはあります。都道府県までは法律で義務づけられておりますので、全都道府県がつくっているという形に

なっていますが、市町村レベルは別に義務ではないんですけれども、先行としては足立区さんとかもう既に策定されているところもあります。

ただ、全国的に見れば、そこまで多くはないというところです。

OC委員

スクールソーシャルワーカー、武雄市専従1人、あとスクールカウンセラーの配置率が100%となっていますけれども、どうなんですか、何に対して100%なのか、それと、武雄市専従1人というのは、実際どういう状況なのかというのをちょっと教えていただきたいと思います。

○副教育長

このスクールソーシャルワーカーもスクールカウンセラーも、基本的には国全体で今取り組んでいる状況で、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを充実させていくという構想があります。武雄市専従という、県の中で武雄市に担当していただいているものという方が基本的には1人という形になります。スクールカウンセラーのほうは、1つの学校にスクールカウンセラーがいらっしゃる時間帯が設定されていればカウントするというので、国の指標は設定されていますので、右の備考のところに計6人の方々が時間を区切って、週当たり何時間という形ですけれども、来ていただいているので、全校にいらっしゃるという形で100%という形で書いております。

OC委員

例えば、国は小学校49.2%というふうになっていますが、指標としては横並びでいいということですかね。つまり、複数の校で6人配置され——何ていうんですか、これは要するに目的として達成しているのか、これからもっとふやしていくのかとか、そういうところはどいうふうにかえたらよろしいですか。

○副教育長

この国でいう49.2%は、実際に時間が設定されている学校なので、100校あったら49人いるわけではありません。これは、より充実させていくという方向があります。スクールソーシャルワーカーについては、各中学校区に1人設置できないかということで国のほうは考えているというところでもあります。

OA委員

指標の中で、ひとり親家庭の子供の就園率（保育所・幼稚園）、これは横線になっておりますし、中学卒業後で89.5%というのはこれは高校への進学率ですかね。

○副教育長

国のほうで調査しているものというのは、抽出になっておりますので、全数調査ではないので、武雄市の状況がそのまま状況がわかるというものにはなっていないというのが現状です。

また、18番のところ、中学卒業後という形ですけれども、完全に進学しているかどうかという調査を行っているわけではないので、単純にこの93.9%と89.5%が比較できるかといったら、統計的に比較できないというのが実態です。

ただ、ここは8月の時点で中学校を卒業後した子が、高校1年生に在籍している子の割合が89.5%という形の状況になっています。

そもそも属性を含めて、どの子がどこに進学していくかというのを統計的にとるという仕組みにはなっていないので、現状としてはこれが限界で、この89.5%も紙を1枚1枚めくるというような作業をしなければいけないということで、簡単にすぐに出てくるという数字ではないということです。

○A委員

先ほど言いましたひとり親家庭の子供の就園率（保育所・幼稚園）、これはアンケート調査は、この保育所・幼稚園の保護者に対してはしていなかったんですかね。

○副教育長

はい。そういうことは行っておりません。全ての子どもに対して、どこに通っているか、通っていないかという、そもそも調査をする仕組みがないので、そういうのはとっていないという状況です。

○職務代理者

そしたら、ここで質問を打ち切りたいと思いますが、これだけはぜひということがあったら——はい、ありがとうございます。また今後御苦勞いただくとお思います。どうぞよろしくお願いいたします。

では、各課からの報告に移りたいと思います。

そしたら、教育政策課からどうぞ。

○教育政策課長

7ページ～8ページ、1行事報告、2行事予定について、平成29年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○学校教育課長

9ページ、1行事報告、2行事予定について、3寄附採納について、平成29年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○スマイル学習課長

10ページ、1行事報告、2行事予定について、平成29年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○生涯学習課長

11ページ～12ページ、1行事報告、2行事予定について、平成29年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○文化課長

13ページ～14ページ、1行事報告、2行事予定について、平成29年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○図書館・歴史資料館長

15ページ～16ページ、1行事報告、2行事予定について、平成29年1月 定例教育委員会報告事項により説明。

○職務代理者

ありがとうございました。

では、各課からの報告について何か御質問ありましたらどうぞ。

○E委員

スマイル学習課の諸岡課長に御質問させていただきたいことがありまして、現在、山内西小学校でプログラミング教育をディー・エヌ・エーさんやっておりますけれども、その製作物とかを公開したり、最後に集大成として発表するような授業または機会みたいなのがありますでしょうか。もしあれば、あったほうが保護者様にもそういった見てもらいまして、ICTとかプログラミング教育に対する理解も深まっていくかなと思い、お尋ねをしたいと思います。

○学校教育課長

学校教育課のほうからお答えしたいと思います。

年間の計画によりますと、2月17日に最終のプログラミング教育授業の計画をされております。この日にいわゆる発表会を兼ねて行うというところで、1年生から3年生まで、主に保護者を対象に発表会を行うということで、このときはディー・エヌ・エーからも参加をしていただけるというところで、よかったですら教育委員さん方にもぜひ御参加をお願いできないかなと思っているところでございます。

○E委員

この日、定例教育委員会ございますか。

○学校教育課長

後もって日程の調整がなされるかと思えます。

○教育政策課教育政策係長

済みません、教育政策課報告のほうでは、教育委員会の時間を定例午後3時で行ってまいりました。先ほどの山内西小のプログラミング教育がお昼からということで、できましたら午前10時から教育委員会を行いたいと考えております。

○職務代理者

プログラミングの発表会については今のよう状況です。

ほかに質問はございませんか。A委員さんどうぞ。

OA委員

9ページの学校教育課の関係ですが、教育長さんの報告の中でも北方幼稚園の在り方懇談会のお話が出て質問もあったんですが、在り方懇談会はどういうメンバーでされているかということと、大体いつごろまでをめぐりに方針決定されるのかということですが。

○学校教育課参事

一応メンバーとして北方町在住の方を主に今回メンバーに入れました。まず、区長会長さん、婦人会長さん、公民館の会長さん、それから、北方分館の会長さん、それと北方幼稚園のPTAの会長、副会長、それから、北方幼稚園の評議員さん代表お一人、あと教育長、部長、あと教育課2人と、北方幼稚園の園長と副園長のメンバーでした。

目途としては、少なくとも二、三回は開催して方向性ができればと思っています。

OA委員

大体29年度中ぐらいいということですか。

○学校教育課参事

3月にもう一回、会議を持ちたいというところまでしか、今のところは計画が立っていません。

○職務代理者

ほかにございませんか。〔「なし」と声あり〕

ないようでしたら質問を打ち切りたいと思います。

では、次回の開催日程ですが、ただいまありましたように、2月17日、午前10時から予定です。では、その他でございます。樋渡係長どうぞ。

○教育政策課教育政策係長

その他、卒園・卒業式、入園・入学式について、別紙により説明。

○職務代理者

ありがとうございました。では、その他でB委員さんどうぞ。

OB委員

佐賀新聞に出ておりましたが、武雄小学校の大人も自由に使えますよという学校の開放のシステムが公表をされておまして、非常にいいことだなと。特に、校長先生自体が非常に社会教育に造詣の深い方だなと常々思っていたんですが、普通の日、もう誰でも行って町内の住民の方々は空いているところは自由に使えるというようなシステムをとられていると新聞で出されておまして、これは今後もっと拡大をするような方向あたりがあるのかどうか、それが1点。

それからもう一点は、今、電通を中心に超過勤務時間の過労死の問題が非常に大きく取り上げられているんですが、朝日新聞に出ておりましたが、小・中の教諭の7割が60時間以上の超過勤務をしているというような状況で、全国の公立中学校の4,500人ぐらいいを対象にし

たそのシンクタンクの連合総研が調査で明らかにしているんですが、武雄市の場合にはその辺のところ、小学校、中学校の先生方の超過勤務の実態調査あたりがなされているのかどうか、その辺、2点お伺いをしたいと思います。

○学校教育課長

1点目の武雄小学校の学校開放についてでございます。武雄小学校へ視察に行ってもらったときを思い出していただくと、校舎の構造を思い出していただくとよくわかると思いますけれども、一番手前に管理棟というか、特別教室があるんですね。通常あそこは人けがない場所でありまして、入ろうと思ったらいつでも入れるというような状況が片一方ではございます。そういった中で、地域の方が日常的にあの部屋を活用していただくと、ある意味防犯のためにもなるんじゃないかと。

また、武雄町は町の中で公民館がないんですよね。文化会館という大きな建物はあるんですけれども、ほかの若木とか武内みたいに自由に出入りできる居場所がないというようなところも片一方ではございまして、そういった中で、家庭科室、あるいは音楽室等は授業であいている時間帯に関しましては市民に、町民の方に提供したいというようなところでスタートしたところでございます。

現在、新聞にも出ていましたように、音楽室でオカリナの練習をしたいと。自宅でするにはちょっと気が引けるというようなところで、貸し出しをしているという実績。そして、毎回というわけではないでしょうけれども、町内の区長会議をその小学校のほうでしていただけるというところで、行く行くは花まるの官民一体型学校づくりにもそこをベースに、その延長として子どもたちの学習支援等、上手にスライドできないかというような長期的な展望もあつての計画だと聞いております。

2点目の超勤については、教育委員会としても学校現場の負担軽減には努めているところでございますけれども、結論から言いますと、残業の時間帯につきましては学校間によってかなり差があるというようなところが実態としてございます。極力、80時間を超えた場合は報告をしていただくというような制度もつくっているわけですが、先生方、一生懸命頑張って遅くまで残って仕事をされているところで、敬意を表したいところですが、やはり健康第一でございますので、時と場合によっては校長会等で議論をしながら、今後も業務の効率化について検討をしていかなければならないというようなスタンスでかかわっていきたいというように思っております。

具体的な残業の時数等については、現時点で手元には資料がございませんけれども、各学校で記録を出していただいたり、あるいはタイムカードを設置して、その都度指導を重ねているというのが実態でございます。

○職務代理者

はい、B委員さんいかがですか。

OB委員

はい、ありがとうございます。

○職務代理者

ほかに何か御質問ありませんか。その他。はい、H委員さんどうぞ。

OH委員

最近、テレビのニュースを見ていると、よく武雄のことが出てくるんですね。地元の佐賀の民間の放送局もそうなんです、福岡の放送局なんかはパクチーの話がこの前出ておりました。それから、榊とか、ああいうやつをしているやつの報告があつていたりですね。武雄が話題に上ることが多いなと思って、非常にうれしいなと思ってニュース番組等を聞いておるところです。

温故知新ではないけれども、やっぱりそういうことを今の武雄のそういう勢いある姿に子どもたちが触れる機会があればいいなと思うと同時に、温故知新で、武雄にはやっぱり歴史と文化があつて、もうすぐ明治維新150年たつわけですけれども、武雄そのものに対する子どもたちが何か勉強する機会があればいいなと思っております。武雄の12月の市報に特集があつて、とてもいいなと思ってですね、「武雄の偉人」と題した特集が、鍋島茂義、平山醇左衛門、山口尚芳、中村涼庵、地図入りで、足跡をたどってみようと、こういうのがありました。班長さんからうちに配布されてきたときに、読んで、とてもいいな。こういうのをやっぱり子どもたちが何か触れる機会とかあればいいなと思って、タブレットの活用がこういうのでどうなんだろうかなと思ってですね。小学校のときに1回、中学校で1回ぐらい、ちょっと時間をとって、その落とし込んだやつを先生たちがリードしながら見せる機会があれば、わあ、武雄って自分の住んでいるところはこんなにすばらしいところなんだと、誇りを持ちたいと思うような生徒を育成することはとても大事じゃないかなと思います。もしよければタブレットの活用を含めて、何かそういうみんなが触れ合う機会があれば検討いただきたいなと思ったところでした。

○職務代理者

古賀課長さん、一応そういう御意見があつたということで。

○学校教育課長

ありがとうございます。前々回だったですかね、地域のいいところを子どもたちにぜひ学んでもらいたいというような御意見を頂戴していたと思います。そのときも簡単に申し上げたんですけれども、各学校、やはり我がふるさとを誇りに思うような子どもの育成に努めているところでございますので、そういった市報等も有効に活用しながら、さらに再認識をするように働きかけていかなければならないと思っております。

あわせて、県の教育委員会のほうからも地元佐賀のよさに触れる、考えるというようなところで、ホームページの中にも挿入されているようですので、やはりふるさとを誇れる子

もたちの育成、これはもう大きな課題だと受けとめております。ありがとうございました。

○職務代理者

今のに関連して古賀課長さん、今も小学校では、武雄市の様子をうかがうことができる副読本は今もつくってありますか。はい、古賀課長どうぞ。

○学校教育課長

26年度だったか更新をして、社会科部会のほうで作成をして、3年生のほうに配布をしています。

○職務代理者

3年生ですね。

はい、そしたらこれでもうよろしいでしょうか。はい、打ち切りたいと思います。

もう年度も終わり近くになりましたけれども、各課でそれぞれのまとめや発表、それから、公開を最後の取り組みをしていただいているようでございます。年度の計画の反省をあわせながら、今後も御苦労いただきたいと思います。

2月半ばぐらいからが余計雪も降ってくるとも思いますし、どうぞ皆さん方の交通安全も気をつけて、年度の締めくくりをしていただきたいと思います。これで1月の定例教育委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

午後4時23分 閉会